

施策番号	0601		
施策名	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり		
概要	京都の先人たちの文化を受け継ぎ、幅広い市民が多彩な文化芸術に気軽に親しめる環境をつくるとともに、文化芸術に関する子どもたちの教育や文化芸術による地域のまちづくりを進める。		
担当局・部室	文化市民局・文化芸術都市推進室	共管局・部室	
上位政策	6 文化		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数(団体)	c	e	331	365	351	104.0%	a	1.00
2	京都市後援名義使用許可数(件)	a	e	321	344	419	82.1%	d	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	e	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言う そう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言う そう思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。	c	c	61 12.5%	167 34.2%	152 31.1%	78 16.0%	31 6.3%	489
2	文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。	b	b	100 19.5%	224 43.8%	145 28.3%	29 5.7%	14 2.7%	512
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					27 年度	C	
	重み付け	☐ 客観指標	b	☒ 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 当該施策は、市民が文化芸術の支え手として誇りをもつことをめざしているため、市民の実感を重視する。							26 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。								
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。								

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	国家戦略としての京都創生の推進、双京構想の推進	74,094	73,795	良い	総合企画局
2	文化ボランティア事業	2,866	3,220	良い	文化市民局
3	京都文化祭典	51,394	48,106	かなり良い	文化市民局
4	無鄰菴	12,404	0	良い	文化市民局
5	京都文化芸術都市創生条例の推進	11,789	18,849	普通	文化市民局
6	子どもが文化芸術に親しむための取組	5,133	5,732	良い	文化市民局
7	京都市キャンパス文化パートナーズ制度	2,001	2,518	普通	文化市民局
8	京都国際映画祭	5,859	5,859	普通	文化市民局
9	京都国際現代芸術祭の開催	21,416	0	かなり良い	文化市民局
10	京都文化芸術プログラム2020を牽引する重要事業	23,939	30,917	良い	文化市民局
11	京都文化力プロジェクト2016-2020の実施	8,742	22,532	—	文化市民局
12	大政奉還150周年記念プロジェクト	8,441	19,169	—	文化市民局
13	京都市交響楽団創立60周年記念事業負担金	31,256	0	—	文化市民局
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人については、今後も引き続き登録者数の増加に向けての取組を進める。

・引き続き、後援名義使用許可や文化芸術についての情報提供を行うことで、市民の自主的な文化芸術活動を支援するとともに、文化芸術が子どもたちや学生、地域のくらしにも浸透し、発展するよう、「ようこそアーティスト文化芸術とくべつ授業」や、学生の文化芸術に対する理解を深め、京都の多彩な文化芸術に親しむ機会を提供する「京都市キャンパス文化パートナーズ制度」などの取組を進める。

施策名	0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり				
-----	------	--------------------------------------	--	--	--	--

指標名	学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内NPO法人数（団体）					
-----	---------------------------------------	--	--	--	--	--

担当課	文化芸術企画課	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動を行う市内に所在するNPO法人の認証数（各年度3月31日現在）

2 指標の意味

地域の暮らしのなかに文化芸術が息づいていることを示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：今年度の登録者数－前年度の登録者数
出典：内閣府NPOポータルサイト
※平成22年度までは京都府NPO協働ポータルサイト

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	331	365	34団体増	351	前年度（26年度）数値より20団体以上増加	104.0%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新の数値が
a：前年度より20団体以上増加
b：前年度の10団体以上，20団体未満増加
c：前年度の0団体以上，10団体未満の増加
d：前年度の0団体超，10団体未満の減少
e：前年度の10団体以上減少

6 基準説明

法人数の増加が望ましいため，前年度実績に対する増減で基準を設定した。

7 評価結果

26	27	28
c	e	a

1 指標の説明

文化芸術に関する事業についての，京都市後援名義の使用許可件数

2 指標の意味

文化芸術に関する市民の自主的な活動を支援していることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	321	344	23件増	419	過去5年間（平成22～26年度）の最高値（平成25年度）	82.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新の数値が，過去5年間の
a：最高値以上
b：上中間値（最高値と平均値の間）以上～最高値未満
c：平均値以上～上中間値未満
d：下中間値（平均値と最低値の間）以上～平均値未満
e：下中間値未満

6 基準説明

使用許可数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較するため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。
最高値：419（平成25年度）
平均値：358
最低値：300（平成22年度）

7 評価結果

26	27	28
a	e	d